

ナラ枯れ防除対策【おとり丸太】の設置

令和5年6月27日

岩泉町小本大牛内国有林578林班は1小班内

岩泉町小本岩泉町町有林内

令和5年6月19日、大牛内国有林内と岩泉町有林内の2箇所になら枯れ防除対策として「おとり丸太」を設置しました。

ナラ枯れ被害は、カシノナガキクイムシが繁殖のためナラ類の幹に穴を開け侵入、共生菌であるナラ菌が樹木内に入ることによって細胞が壊死、通水障害により枯死、羽化した新成虫は、ナラ菌を付着させ別のナラ生立木へ移動し被害が拡大していく被害です。

おとり丸太は、このカシノナガキクイムシをおびき寄せるためのナラ丸太を置き、集合フェロモン剤を設置し虫を集め駆除することにより、地域のカシノナガキクイムシの密度を減らし被害を少なくする方法です。

昨年度から引続きの実施となりますが、ナラ材は、使用用途の多いため（薪材、木炭、シイタケ原木、フローリング材等内装材）価値が高くなっており、今年度は、昨年度の40m³から20m³に量を減らしますが、岩泉町大牛内地区で岩泉町、宮古農林振興センター及び岩手県林業技術センター研究員と連携しながら実施します。



おとり丸太の設置作業



完了前の丸太状況



フェロモン剤の取り付け（町有林）



設置完了（国有林）